

目標達成計画

作成日: 令和2年3月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	職員が入居者に行うケアに対する指導や助言をタイムリーに実施する必要がある。	タイムリーな指導と助言を行うことができる環境づくり。	毎日の「日勤勤務者(リーダー)」に指導と助言の権限があることを全職員に周知を行い指導する側、される側の心理的抵抗感を無くしタイムリーな指導と助言を可能にする。	12ヶ月
2	49	体調の状態により寝たきりの方や外出することに難色を示される入居者の方の外気浴時間の確保。	1日1回は日光浴や外気浴ができるようにする。	入居者の体調に合わせて外気浴を実施できるように1日のスケジュールの中に予定として組み込む。また、体調不良や拒否をされる入居者の方には庭が見渡せ日が入る談話室へ声掛け誘導を行い日光浴を実施して頂くようにする。	3ヶ月
3	35	令和元年6月までは同法人の有料老人ホームとして使用していた施設が閉鎖し令和2年12月より他法人の障害者施設として運営している。同法人の時は合同での消防訓練を実施しており他法人になった今後も避難経路の確認と有事の際の連携の為合同での訓練継続が必要である	年間2回実施している訓練のうち1回は合同で行うようにする。	他法人の管理者に合同訓練実施の提案を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。